



# いきいき弥小っ子



弥彦小学校ブログ 日々更新中！ <http://yahikosyou.blog-niigata.net> 文責 校長 木嶋 達平

## ■いじめ見逃しゼロスクール集会 ～相手の立場に立って考えてみよう～

「みんなで仲良く気持ち良く、めざせ いじめゼロ！」のスローガンの下、生活委員会が中心となり「いじめ見逃しゼロスクール集会」を行いました。いじめ見逃しゼロのために各クラスで考えたスローガンを紹介します。

おびの教室 「優しくすると気持ちがいいよ。一緒に笑うとうれしいよ。」

1年1組 「ひとりじゃないよ。一緒にがんばろう。」

1年2組 「一日1回以上、温かいメッセージを友達に言う。」

2年1組 「温かい言葉を使って、がんばっている人を応援する。」

2年2組 「すぐに言おう あたたかい ことば。」

3年1組 「一人でさみしそうな友達に気づいたら、「見てないふり」をしないで声をかける。」

3年2組 「人にちくちく言葉を言わないで、ふわふわ言葉を伝えよう！暴力はしないで、人に優しくしよう！」

4年1組 「優しさと思い合い大切にし、みんなと関わり合う4年1組。」

4年2組 「スマイルあふれる4年2組広げよう温かいメッセージ。いじめを見たときは、勇気を出して注意しよう。」

5年1組 「誰とでも仲良く関わるわかばイチ。」

5年2組 「そのなみだ 周りの人が 気づこうよ。」

6年1組 「みんなが未来を楽しく過ごせるように がんばろう。」

6年2組 「見逃すな！その行動で変わるかも。」

いじめ見逃しゼロスクール集会では、各クラスの代表児童によるスローガンの発表がありました。各クラスで考えた、いじめゼロに向けた決意表明の場となりました。

その後、わかばフレンズ班でコミュニケーションを意識したゲームを2種類行いました。高学年が、低学年に優しく接する姿、異学年同士が楽しく話す姿など、ほのほのする姿がいくつも見られました。

私からは、子どもたちに自分が大好きな人、2人を詳しく思い出してもらい、①優しく親切、②運動が出来る、③物知りのどのタイプが一番近いか聞きました。①～③のそれぞれに手が挙がりま

した。もう一人の大好きな人についても聞きました。最後に、自分がどのタイプに当てはまるかも聞きました。そして、3人ともタイプが違うことを確認しました。子どもたちからは、「カラフルだ！」の聲が上がりました。

私からは、いじめや差別をなくすためには、友達はどうのように考えるだろうかと、相手の立場に立って考えてみる、相手を思いやる心が大切であることを話しました。



## ■ 地域を舞台に学びを深める子どもたち



全国学力・学習状況調査では、弥彦小学校の子どもたちは、地域行事に積極的に参加するが、地域や社会をよくするために何かしてみたいという意識が低いという結果が出ています。そこで、各学年では、自分たちの活動が弥彦のためになっているという意識をもたせた活動を総合的な学習の時間に取り組んでいます。私は、このような活動が、自分が社会に役立ちたいという心を育むと考えます。

### ● 3年生の取組 弥彦クエスト ～弥彦のお宝紹介します～

3年生は、弥彦方面・井田方面・矢作方面の弥彦のお宝について取材し、パンフレットにまとめて観光客の皆さんに配付しました。

#### 【3年生児童の感想】

観光客の人に、「弥彦のことを知ってほしい！」という気持ちでパンフレットをあげられたので良かったです。1日でもいいので弥彦のことを楽しんでほしいと思いました。また、観光客の人に渡したら、「弥彦はこんなところなんだ！」など笑顔でパンフレットを受け取ってくれたのもうれしかったです。「がんばって良かったな。」と思いました。

### ● 4年生の取組 菊まつり ～私たちの育てた菊をPR～

テレビ放送されたので、ご存知の方も多いと思いますが、4年生は自分たちが育てた菊のことや菊まつりの歴史などを詳しく調べ、タブレットで観光客の方にプレゼンテーションしました。また、11月24日（金）の新潟日報に4年生の取組に対するの投書がありました。投書された方は、毎年、弥彦小学校4年生が出品する菊を楽しみにしているそうです。鉢に書かれた子どもたちのメッセージを読み、子どもたちのがんばりに胸が熱くなったと書かれていました。また、伝統を守っている地域や学校の取組についても評価していることが書かれていました。県民にも反響が大きかったようです。

### ● 6年生の取組 ぐるぐる弥彦 Season4 ～弥彦村のミライをつくる～

6年生は春から取り組んできた弥彦の良さのPRの集大成として、菊まつりに合わせて11月10日・17日・24日の3回にわたり、おもてなし広場と神社境内にて観光客にパンフレットの配布（英語でも書かれていました）、自転車バーチャルレース体験、弥彦のPR缶バッチ配布、プロジェクションマッピング等、子どもたちのアイデアを生かしたダイナミックな活動を行いました。

#### 【6年生児童の感想】

特にできて嬉しかったことは、外国人観光客にチラシを渡せたことです。最初は日本語が伝わらないと分かって混乱したけれど翻訳機能などを使って、外国の人たちにもチラシを配り、短いけれど話すこともできました。自分から積極的に何かやろうと思うきっかけを作り、チラシ配りやいろいろなことを許可してくださった観光協会の皆さんや商工会の皆さん、本当にありがとうございました。